



<文責 くま川教室室長 中村末男>

## 音楽会！！

10月22日、ハンドフルート奏者の高山大知さんをお招きして、くま川教室秋のコンサートを行いました。高山さんの柔らかい手の中から生まれ出てくる音色は、オカリナの音色をもっとソフトにしたような優しく温かみのある心に響く音色でした。

子供たちがよく知っているアニメソングなどを演奏された後、くま川教室の中学三年生、増田さん、作増さんが音楽の時間に練習している「四季の歌」のギター演奏に合わせてハンドフルートを吹いてくださいました。二人の澄んだギターの音色とハンドフルートの音色がとてもよくマッチしていて、アンコールを受けていました。

ハンドフルートの吹き方の講座やハンドフルートを吹くようになった小・中学生時代のエピソードなども織り込みながらのコンサートでした。子供たちは、「音色がすごくきれいで感動した」「一緒に演奏できて、一生の思い出になった」などの感想を書いていました。心癒やされ、自分自身を見つめるすてきな時間になったと思います。



素晴らしい演奏を楽しみました

## 進路学習！

「興味がある仕事について」3名の生徒が参加してくれました。3名はそれぞれ「イラストレーター」、「サポートギタリスト」、「ペットショップ」を選んで調べました。うーん。カタカナ名前の仕事ですね。調べる内容は、どんな仕事？その仕事に就くためには？などについて質問に答える形でシートにまとめました。最後は、先生方に調べた内容を発表しました。3年生は話し言葉で上手に伝えることができました。何か一つの仕事調べをすると、なり方の例がわかります。



みんな熱心に学びました

## 親子スポーツ！

少し前のことになりますが、9月25日(木)に年に一度の親子スポーツを実施しました。種目は卓球、ペタンク、ソフトバレー(小学部はバウンドバレー)の3種目でした。短い時間でしたが親子で各種スポーツを楽しむとても有意義な時間になりました。ゲームでは白熱した展開にそれぞれの種目で大いに盛り上がりました。



## 子どもが「自力で立ち上がる」ために スクールカウンセラーより

最近の社会変化は激しく、誰もが戸惑います。そのような中、生活経験も少なく人生の中で一番変化が大きい思春期の子どもたちは、なおさらでしょう。おとなの時代よりも過酷さが増しているようにも感じます。

激流に飲み込まれて、一見流され立ち止まって見える子どもたちも自分の力で成長し、自分の力で立ち上がる力を誰もがもっています。これまでもそうだったのでは？

今は、心の傷を癒している大切な時間。焦りは禁物です。心の充電が満タンになれば自分から顔をあげ、辺りを見渡し安全が確認できれば自分で歩き出します。周りの人はそれを信じて、「自力で立ち上がる」その日を心待ちに、助けを求められた時には、最良の手助けができるように準備をしておきましょう。

子どもたちの心の栄養は、自分らしい自分を認めてもらえる温かいまなざしではないでしょうか。